

若林まちづくり推進課助成事業

第一部 熊井啓監督「帝銀事件死刑囚」上映

第二部 キネマ 街物語

「古城 六角塔」

(宮城県図書館「音と映像のフロア」所蔵・15分)

茶話会

佐佐木邦子著『宮城集治監』を読んで

(仙台藩の評定所、囚獄所、処刑場はどこにあったか?)

平成29年2月26日、南小泉町内会館

仙台郷土研究会・会員 加藤純二

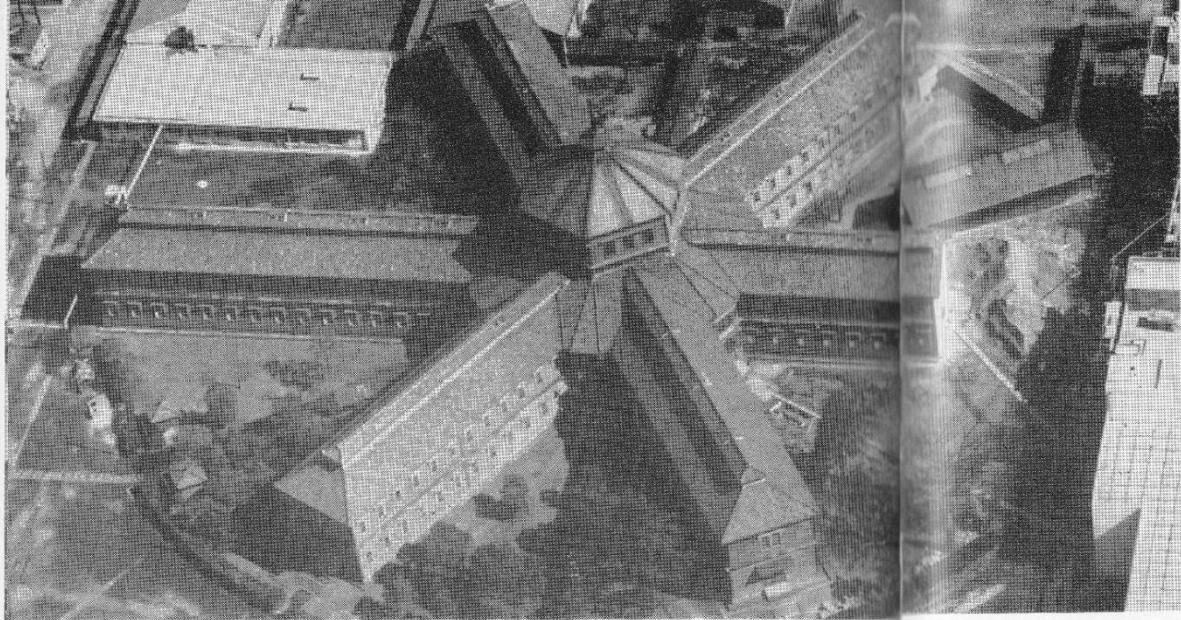
若林城→宮城刑務所

- 寛永5年(1628年)に伊達政宗のために造られ、6年後、彼の死とともに廃された。
- その後、若林薬園となり、薬草が栽培された。現在、堀跡と土塁を残したまま、土塁の上に高い塀をめぐるせ宮城刑務所として用いられている。
- 規模は東西約420m、南北350m。土塁の内側の面積は5万5000m²、土塁と堀を合わせれば12万8000m²(田圃1反:128枚)。北東・南東・北西の三つの角と南辺中央に張り出しを持ち、西を正面として土橋で堀を渡り、門に通じた。
- 明治になって城跡は伊達宗基の所有地になり、一時荒廃したが、西南戦争後の1878年(明治11年)に5800円で警視庁が買い上げ、翌年に宮城集治監(しゅうじかん)を設けた。これが1903年(明治36年)に宮城監獄、1922年(大正11年)に宮城刑務所と改称し、現在に至る。堀は一部が埋め立てられて狭まったが内側敷地の大部分が残る。

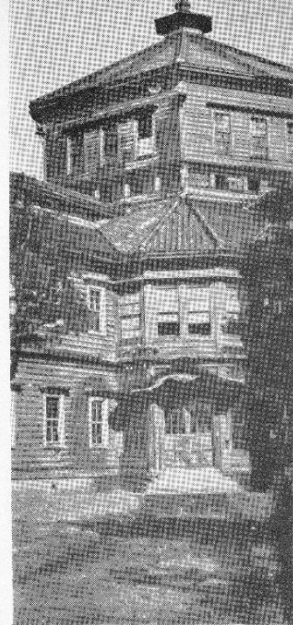


© 2016 ZENRIN

Google Earth



全 景 (河北新報社写)

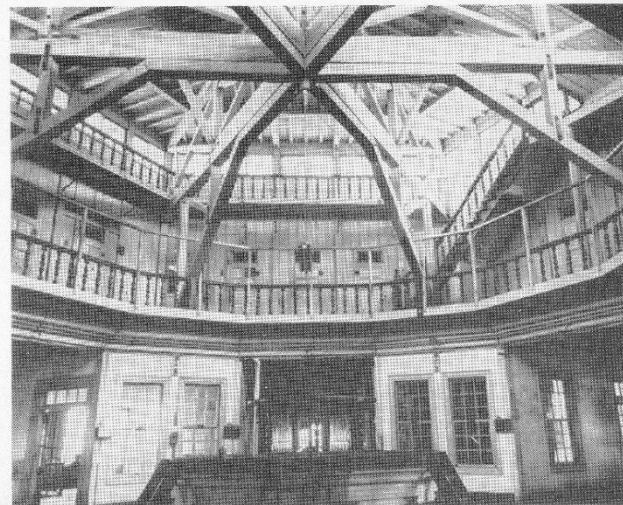


中 央 塔

宮城刑務所房舎 (旧宮城集治監)

古城二丁目

旧くは宮城集治監みやぎしゅうちかんと呼ばれ西南戦争の国事犯を収容するために作られたもので、明治12年(1879)に落成した。請負は大成建設の前身大倉組である。中央にルネッサンス風の六角塔を置き、これに放射状に木造2階建の6棟の雑居房、独房を配した(現在3棟が切りとられた)。中央の塔は4階建で、1、2、3階は看守の見張所となる。この看守所は組立て梁を用いた洋風構造である。房舎の内部においては日本在来の牢獄建築の手法を用いており、外観においても玄関部などに和風のディテールを採用している。獄舎建築としては劃期的なもので、香港、シンガポールの獄舎を通して範を英国に求めたとも、またフランス、ベルギー流とも言われる。堂々たる大建築で、俗に「六角大学」の異称で呼ばれている。現在房舎の取りこわしが一部進行している。(住藤 巧)



中央塔内部
(河北新報社写)

宮城刑務所房舎（旧宮城集治監） 古城二丁目

旧くは宮城集治監と呼ばれ**西南戦争の国事犯を収容**するために作られたもので、明治12年（1879）年に落成した。請負は大成建設の前身大倉組である。

中央にルネッサンス風の六角塔を置き、これに放射状に木造2階建の6棟の雑居房、独房を配した（現在3棟が切り取られた）。**中央の塔は4階建**で、1, 2, 3階は看守の見張所となる。この看守所は**組立て梁を用いた洋風構造**である。**房舎の内部においては日本古来の牢獄建築**の手法を用いており、外観においても玄関部などに和風のディテールを採用している。獄舎建築としては画期的なもので、香港、シンガポールの獄舎を通して範を英国に求めたとも、またフランス、ベルギー流とも言われる。堂々たる大建築で、俗に「**六角大学**」の異称で呼ばれている。

現在房舎の取りこわしが一部進行している。（佐藤巧）

宮城集治監の起工・落成と取り壊し

- ・西南戦争で裁判に付された者 2,700人（降伏兵）、うち300人を仙台へ
- ・起工は明治11年3月（7月野蒜築港着工）
- ・落成は12年8月（14年宮城県議会議事堂竣工）
- ・主材はケヤキ
- ・政府のフランス人顧問が推奨したベルギー、ルーバン刑務所の様式をそのまま採用。

- ・取り壊し：昭和48年2月1日～
- ・「…取り壊しか保存運動かの論議が重ねられた。明治村（愛知県）への移転案なども考えられたが、費用がかかりすぎるために御破算となり…」（河北新報夕刊、昭和48年1月27日）

新聞資料提供：小野寺吉行様

（せんだい映画村会員）

宮城刑務所の創設

菊地勝之助著『仙台事物起原考』（再編複刻版）1995年（1964年）

- ・中央に見張りの**六角五層の塔**が聳え、六棟の獄舎が放射状に配置されていて、中央塔からの監視が行き届くように設計されたものである。…
- ・屋宇は総て**煉瓦**で、外形・構造共に優秀なもので、囚人三千人を収容することができる設備があったということである。…
- ・それまで各府県にあった監獄の多くは、旧藩の制を踏襲したもので、矮陋卑湿汚穢を極め、且つ各所に散在して経費も多く要した。そこで全国を五部に区画し、**中央監獄**を宮城・東京・愛知・大阪・福岡に設けて部内の**重囚**をここに集め、地方の実情に応じて工作の業を開いて**監護使役**の方を定め、府県には未決監と軽罪の既決監とを置いて獄費の軽減を図った。…
- ・建築委員…(8名)、…指名されたのが大倉喜八郎(**地形建方**)、木下平四郎(**鉄物一式**)、大石・栗野(**ペンキ塗**)、黒田・佐藤(**石一式**)等であった。…当時東京の鍛冶橋監獄署長であった石沢謹吾が初代署長として就任した。…

明治時代に諸外国との不平等条約の解消に尽力した外相陸奥宗光。陸奥が仙台的地で幽囚の身となっていたことを最近まで知らなかった。

西南戦争に乗じて政府転覆を企てたとして投獄され、宮城集治監（現宮城刑務所）にいた。後に外相の陸奥を官僚として支える原敬が記者時代に訪れた際、初めて陸奥を見たという逸話が残る。

集治監は、仙台藩祖伊達政宗が晩年暮らした若林城跡に建てられた。その遺物の一つが臥龍梅だ。政宗が朝鮮出兵の際に持ち帰ったものと伝わり、現在は2代目。陸奥は紀州伊達氏の出で、伊達小次郎と名乗った時期もある。政宗ゆかりの梅が咲く、同族の城跡に収監された境遇をどう思っていたのだろうか。

いま刑務所敷地にある臥龍梅は一般公開されていない。毎年11月の矯正展の際に見学できるが、開花期の公開はなかった。それが昨年春、初めて近隣住民に公開された。刑務所によると、今春の公開は未定という。遅咲きの臥龍梅の花付きはもう少し先。陸奥も見たかもしれない。「伊達な花」を間近でめでてみたい。

（鹿児島県人や陸奥宗光は宮城県監獄に入り、宮城集治監には入らなかったようです。）

西南戦争と宮城集治監

- 西南戦争：明治10年2月15日（西郷隆盛ら鹿児島発）
- 3月20日、田原坂の戦い。9月24日、西郷自刃。
- 宇野量介著『犬棒録』昭和55年の「八、水野重教小伝」は監獄係水野の日記によるもの。
- 沼津藩士、明治7年宮城県勤務。8年9月から庶務課監獄係。明治17年1月まで監獄付警部、副典獄。
- 片平丁の宮城県監獄のみ（～明治36年）。明治10年の西南の役の敗兵が宮城県監獄へ。第1陣（10/23東京発）～4陣（翌11年5/26）に分かれ、合計305人が徒歩で宮城県監獄へ。刑期は5～1年。看守詰所など旧役宅まで獄舎に転用。水野は戦傷の治療に努力、囚人の外出も許し、出獄者に旅費の貸与も。
- 水野は名取郡長袋（秋保町内）から陶土を運び、明治12年末に煉瓦試作。野蒜村にて囚人により煉瓦製造。
- 囚徒に工作、読書の指導。陸奥宗光は禁固5年、明治12年11月、山形監獄→宮城監獄。（山形以上の自由があった。土族屋敷の部屋、室外・獄外の独歩、読書・翻訳・著述など。明治15年12月特赦）
- 明治16年6月には県監獄にいた終身囚60名が集治監へ移った。
- 水野は退職後、松島高城区長。明治28年4月まで営林主事。
- 陸奥は外務省弁理公使としてメキシコとの対等条約締結。のち農商務大臣、外務大臣。

明治12年11月26日、監獄係水野は丁長千葉と
卒金子を連れ、山形へ。30日、帰路山寺に投宿。

陸奥「のきばもる月の光のなかりせば

山川の音を雨とやきかむ」

獄舎の獄吏「吉野山ふもとのちりも時なれや

花のしづくの香に匂ふらむ」

陸奥返して「しぼみにし花は香もなく色もなきに

何にやめでて人の見るらむ」



鹿児島県人七士の墓

明治十年西南戦争に従軍し戦後官軍
に投降した西郷軍は、国事犯として全
国の監獄署に護送された。宮城県には
椎原国幹（西郷隆盛の叔父）以下
三〇五人が県監獄署に収容された。
国事犯達は、みずから宮城県内の開
発を願ひ出て、仙台、塩釜、野蒜、雄
勝等で開墾作業や築港工事に従事し明
治初期の宮城県の開発に大きな役割を
果たした。このうち十三人は獄中で病
のため歿してこの地に葬られた。現在
七基を残し六基は遺族に引き取られた
という。心から冥福を祈る。

みちのく宮城鹿児島県人会

明治13年6月、水野は県庁で上司から囚徒の扱
いが緩に過ぎると警告を与えられた。市井独歩を許す
のは不都合だと。水野は「囚情かつ人物を見抜きて
独歩せしむるなり...」と憤慨。

宮城 集治監

みやぎ
しゅうちかん

佐佐木邦子

明治初期、
集治監という
刑務所の
囚人労役は
貞山運河改修。
ある事件を境に
彼らの人生が
移ろい始める……。

「卵」―中央公論新人賞―から17年。
円熟期を迎えた著者待望の
歴史小説。
短編「無間の鐘」併録

中央公論事業出版
定価 本体1400円(税別)



佐佐木邦子著『みやぎ集治監』より(1)

<監獄の構造>

- 嘘か本当かわからないが、**最大収容人数三千人**、たった六人の看守で監視できるとかって...
- 典獄以下、副典獄、書記なんて事務官から、平の看守にいたるまで、獄史のあらかたが士族かそれに準ずる者(卒上がり)。
- 外側は西洋風だが中は藩政時代そのままの牢獄で...
- 寝起きする監房と昼間働かされる工芸場...

<監獄内の生活>

- 看守や押丁は恐ろしかったがね、同房の囚徒の陰湿な恐ろしさに比べたら...
- (冬でも)房には火の気が一切ない。...飯は凍って舌の上でザクザクする。房の隅の小便壺も凍っている...足袋もない。着物はお粗末。筵を敷いただけの床は骨まで冷える。
- 馬も食わない真っ黒な盛相飯。ろくに実もない味噌汁...
- 房内の(囚人の)序列は絶対だった。

佐佐木邦子著『みやぎ集治監』より(2)

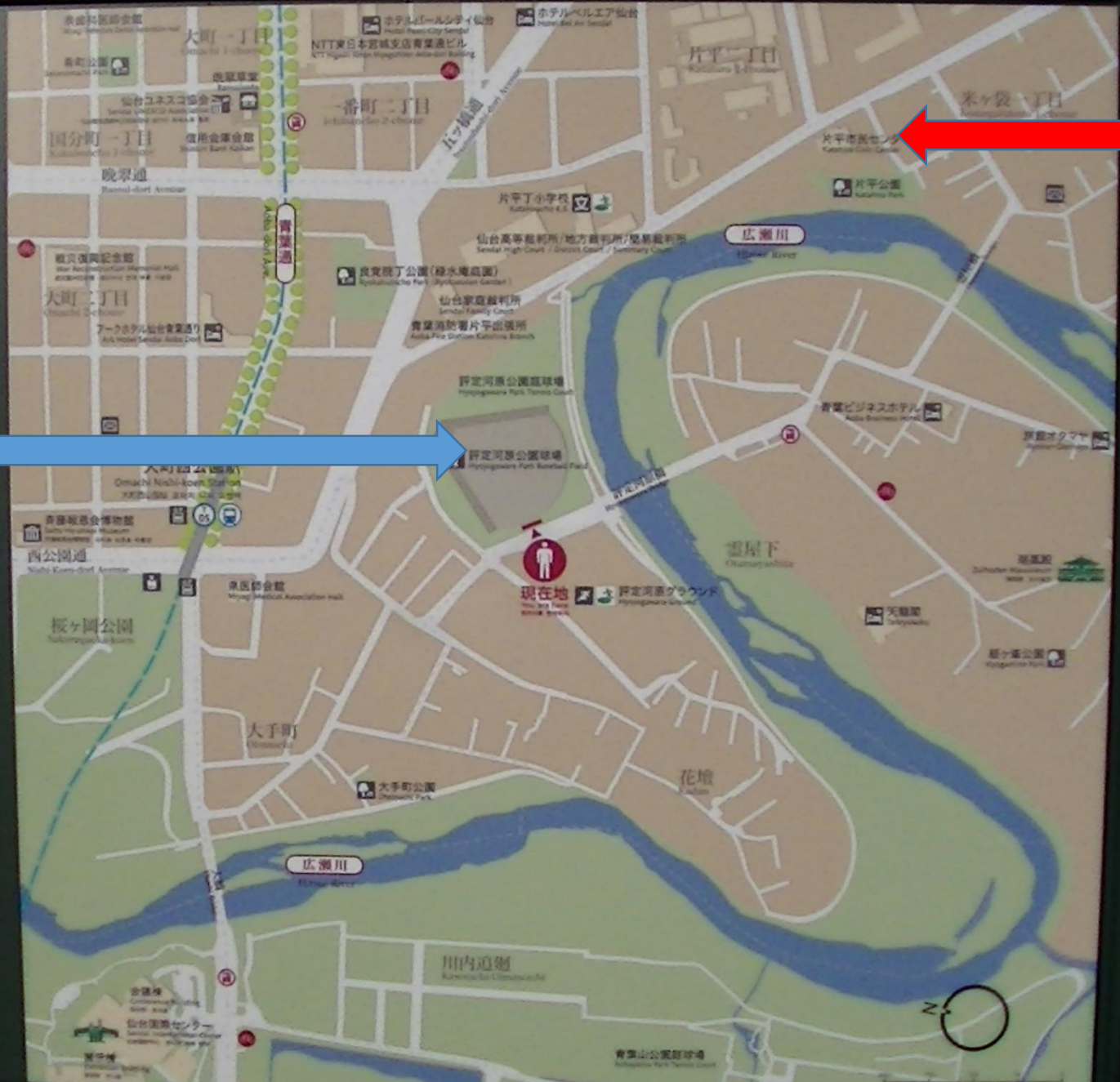
< 監獄内の生活と労役 >

- 看守は、サーベルや鞭は常に持っていた...看守の下に押丁
- 野菜作りと煉瓦焼き
- 減食刑、懲罰房(足錠、後ろ手錠)
- 囚徒の日当なんて普通の人足の半分以下。その1割の、さらに半分を出所まで監が預かり、残り半分を支給...
- 東京集治監七百七十七人、宮城八百五十三人、樺戸(北海道かばと郡)九百九十九人、空知(北海道そらち)三百十五人、三池二百五十四人(合計3,198人)

< 監獄外の労役 >: 貞山運河の改修

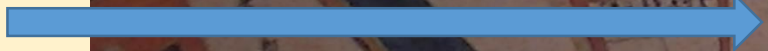
- 内庭に並ばせられ点呼...、十人以上十五人以下がひとまとまり...
- 全員まとめて(鉄の)鎖で数珠つなぎ、柿色の衣に柿色の股引、...
- 歩いて半日...寝起きする仮監が建てられていた。
- 仮監は雄勝にも(石を切り出した)
- 百二十間、これを三つに分けて...三百人でかかる。
- 脱獄を防ぐために鎖で二人ずつつながれている。...そのほか鉄の錘が四百五十目(1.7Kg)。

片平市民センター(身分や人数により十二の牢)



評定所跡(刑場が付属、後に米ヶ袋へ)

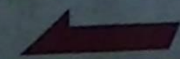
御評定所







仙台市
片平児童センター
片平市民センター



流石の仙台市



東北大学学報

5月1日

第886号

庶務部広報調査課

柳町



囚獄所



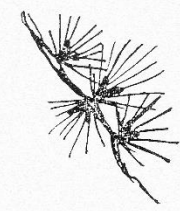
監獄署

片平丁キャンパスの今昔

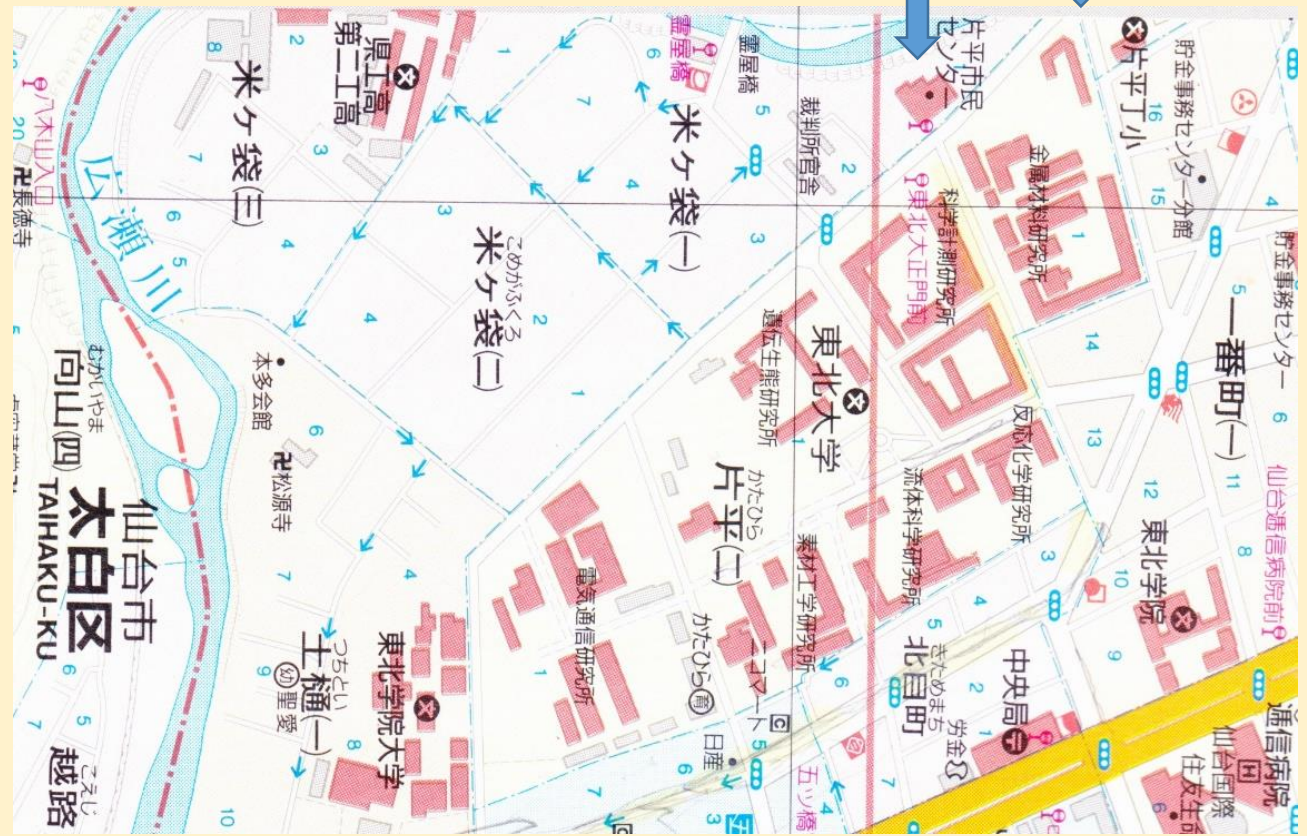
9. 仙台高等工業学校（仙台工専）

さて片平丁のキャンパスには、二高（明治22年落成移転）・仙台改寺（34年二高から独立）があつたが、32年には宮城県中学校が清水小路から移つて来て東で南の片一帯を占めて加わり、これが仙台高等工業学校（39年創立）がその敷地を与えられて、2つの高等教育機関があつた。その面積は今日のキャンパスの約2/3に相当したのである。上の図はその大体を示す。仙台工専の宮城県立仙台第一中学校（37年改称、今日の仙台一高）から譲られたを中心とし、多少旧校舎から所管移し、さらに政府が加えて買上げた土地は19,571坪で、南六軒丁・片平丁・七軒丁・松小路・真駒横丁・上袋通明におつたという。

当時、各校の生徒の総数をみると二高は約600名、改寺は約500名であるから、合計1,500名がこのキャンパスで学んでいた。これは全国でも特別な集中である。当時全国に2つの帝國大学があつたけれども、2つ以上の高等専門学校が置かれていたのは京都と岡山と仙台と東京であつて、3つ以上は仙台と東京だけである。理由は、改寺は高校医学部から生まれたが、二高医学部が仙台の二高敷地内に置かれたのは特例で、一高医学部は千葉に、三高医学部は岡山、四高（金沢）は新潟、五高（熊本）は長崎と、一般には別の都市に移けられた点が大変だ。これが東北大学創設前後の仙台である。これに大学が加わると、完全に京鹿を抜いて東京につぐ第二の学校都市となるわけである。



その頃の此物の残つてゐるものは少い。二高では図書館の書庫がいま「法文学部発祥之地」の標の裏にあり、校舎の一部が本館と非本館との間にあり、また真駒横移されて入植町小学校で使われている。改寺では組織学の1棟が旧化学教室の北に残つて「保険管理センター」などとなり、改工では赤レンガの書庫が選研の西に残り、もともと結合していた講堂が南に移されて高生版の大食堂となつてゐる。



仙台市
太白区
TAIHAU-KU

東北大学

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

金属材料研究所

金属材料研究所

流体科学研究所

反応化学研究所

東北学院

中央局

北目町

片平(一)

片平(二)

米ヶ袋(一)

米ヶ袋(二)

米ヶ袋(三)

泉山高
第二工高

本多会館

花松源寺

東北学院大学
土樋(一)

⑤ 聖愛

向山(四)

越路

仙台国際
住友生命

通信病院

仙台通信病院前

1番町(一)

片平丁小

片平市民センター

科学計測研究所

東北大正門前

仙台城下絵図（天明～寛政）



石川大和殿
後藤勘之輔
大町監物



左図の矢印あたり。昔の士族屋敷の庭園跡か？（現在、東北大学の構内）



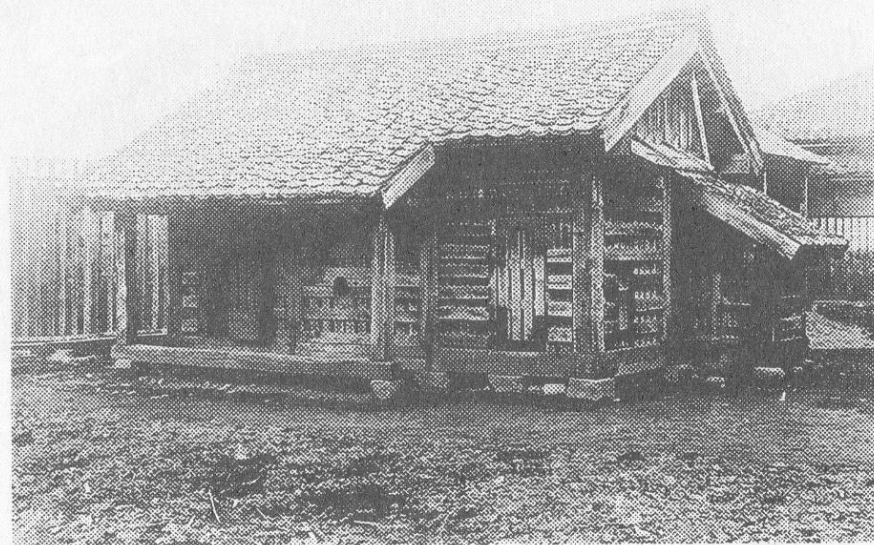
かたひらこうえん がりょうばい

片平公園の臥竜梅

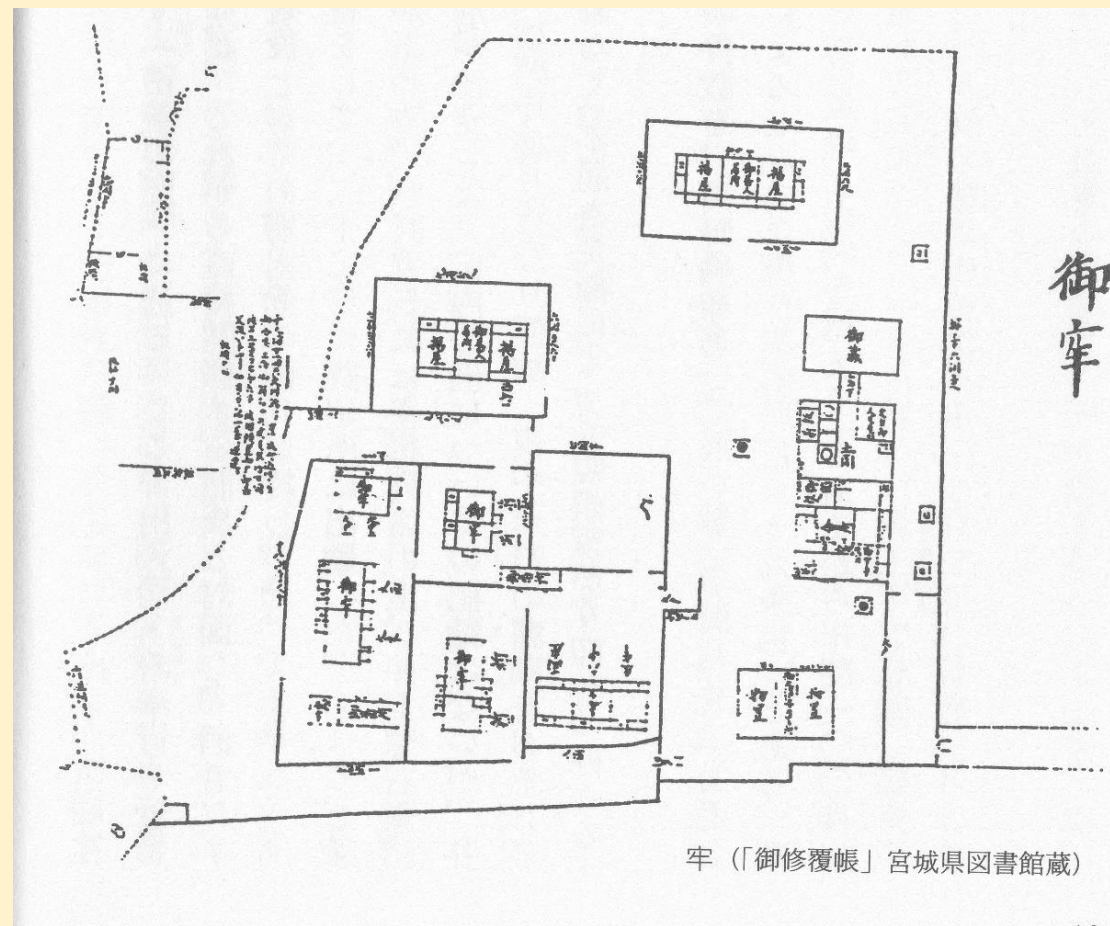
このウメは、仙台藩士湯目家（青葉区五橋）にあったもので、伊達政宗が文禄の役（1592）に際し、朝鮮から持ち帰ったとされる若林城跡（若林区古城）の臥竜梅と同時期のものと伝えられる。

戦後、臥竜梅は、湯目家から屋敷を譲り受けた香坂家により保存されてきたが、平成4年（1992）、ビル建設のため仙台市に寄附され、片平公園に移植された。移植時、枝の欠損・腐朽が進んでいたが、平成6年（1994）、腐朽部の除去・消毒等の治療を行い、樹勢が回復している。

仙台市青葉区建設部公園課



明治40年に取り壊された牢 (仙台市民図書館蔵)



牢 (「御覆帳」宮城県図書館蔵)

高倉淳著『仙台藩犯科帳』(平成7年、今野出版)より

入学のチャンスは
年2回
(4月・10月)
宮城学習センター
TEL.022-224-0600
〒980-8577
仙台市宮城野区宮城
放送大学宮城学習センター
http://www.bunshu.ac.jp

放送大学 宮城学習センター
TEL.022-224-0600

放送大学





冤罪を防ぎ、更正を計るには

- 冤罪の原因：警察の思い込み捜査
- 裁判官の判断の偏り
- 再審請求：刑事事件の場合、証言・証拠書類が虚偽であったり、新たな証拠が出た場合など。
 - ・一事不再理：刑事事件の裁判で、確定した判決がある場合には、その事件について再度、審理はしない。
- 死刑の執行：法務大臣が決める。
- 問題：最高裁判所の裁判官が内閣によって決められ、裁判官の人事が最高裁事務総局で決まる。（三権分立と言えない）
- 江戸時代の刑法：吉宗「公事方御定」、目安箱南町奉行に大岡忠相を抜擢
- ◎仙台藩：評定役（高野倫兼の日記、刈田郡平沢村、1744年）。就任時、齋戒沐浴して起請文・血判（依怙臆肩をしない、賄賂を取らない、他言しない、…）年間百件以上を処理

- 更正（人材活用？）
 - ・戦国時代：敗残将兵を自軍に採用
 - ・函館戦争：榎本武揚ら敗残兵多数を明治政府が採用
 - ・西南の役：陸奥宗光→外務大臣
- 新憲法：
 - ・前科：狭義には「懲役・禁錮・罰金を受けた」
広義には「実刑、執行猶予付き判決、罰金や科料」
 - ・履歴書に賞罰欄あれば狭義の前科だけを記す。
 - ・執行猶予が過ぎれば前科は消える。懲役や禁錮の刑で刑務所に入ったときは、その後10年、罰金刑であれば5年の間に再び懲役刑や罰金刑を科されなければ、法律上、刑を受けたことがないものとして取り扱われる。
 - ・刑が終われば選挙に立候補できる。刑の執行や執行猶予期間が終了したら公務員資格の受験はでき、公務員にもなれる。